

んむたか、表情や、こわいつて、今度は最初から全文を
讀み直して、「これは貴下の意見が協調會の意見か、ま
た發表されるのかどうか」と尋ねるから、「余の意見
であつて發表するものではない」と答えると、氏の表情
はまた平常にかえつて「意見の相違はあろうか、發表さ
れないことを望む」という話である。余は更にコンスタ
ンチノ氏の示唆によつて「三ヨツゴ、ステユワート制を取
入れた社會政策時報（二九三號）中「調査研究の一課題
」の記事を示すと、漢字を解する氏はこれを通讀して「
これはよい」と納得かついた。理事會及び評議員會では
、山ちろん解散の内面的事情を詳細に説明し、會員もこ
れを諒承して解散の決議をすることに成つたのである。

こかし文書の形式としては理由を明記するのが常例であ
るから、余が起稿し添田會長及び松村常務が加筆して會
議に提示した。それは次の一文である。

協調會解散理由

財團法人協調會は、第一次世界大戰後に於ける社會
不安、殊に産業勞働界の動搖に對處するため、社會政
策に関する調査研究とその實現を期し、更に進んで事
業主と勞務者との協同調和を圖ることを主たる目的と
して、大正八年に創立されたのである。爾來二十有七
年、この間に、世界の情勢は幾變轉し、ひいてはわが國
の政治、經濟、思想等に著しい變遷があり、殊に産
業勞働界には、内外情勢の急變に呼應して、新しい勞